

御所市 ^{あき}秋 ^つ津 遺 跡

古墳時代前期の方形区画施設の調査

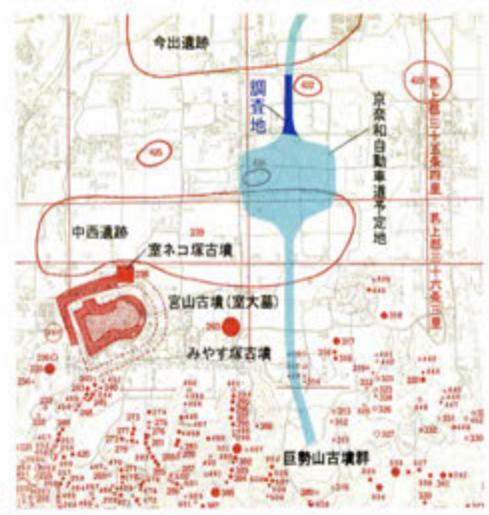


2010.1.23~24

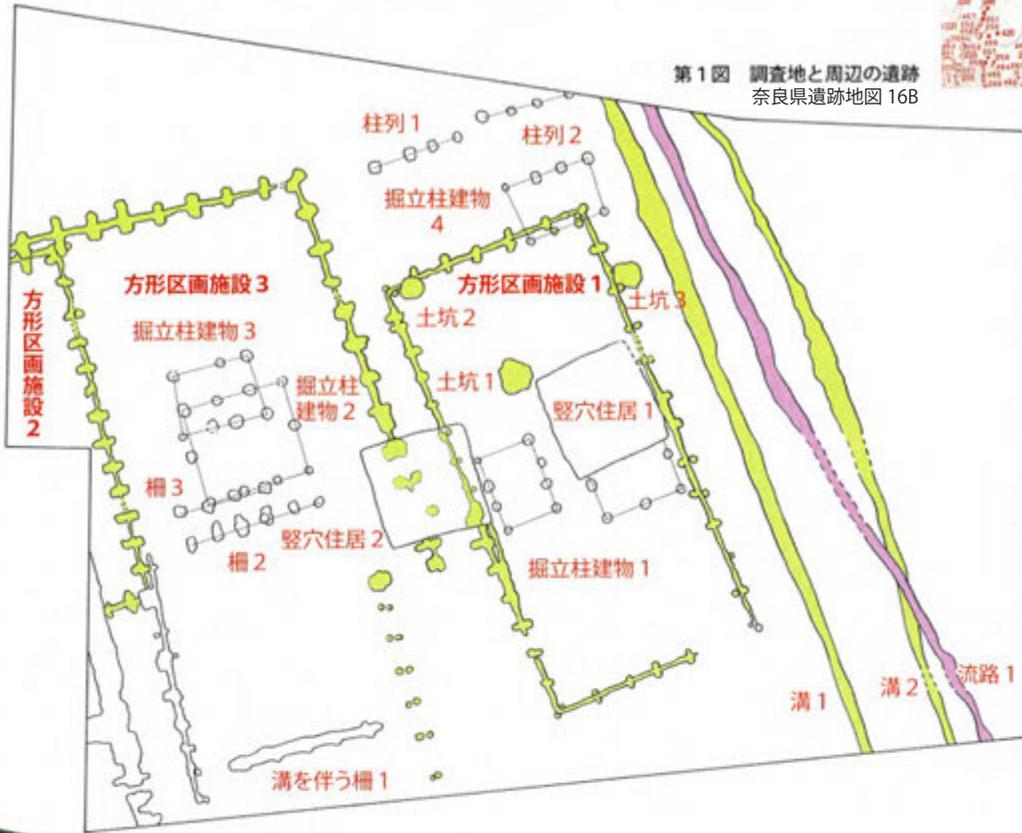
奈良県立橿原考古学研究所



こんにちは、イワミンです。
 今回の発掘調査は、御所市池之内と條のふたつの大字おおあすにまたがる範囲で行われました。調査により新たな古墳時代前期から中期にかけての遺跡の存在が明らかになりました。遺跡名は、旧地名をとって「秋津遺跡」と命名しました。



第1図 調査地と周辺の遺跡
 奈良県遺跡地図 16B



【南区】

第2図 主な検出遺構模式図 (S=1/500)

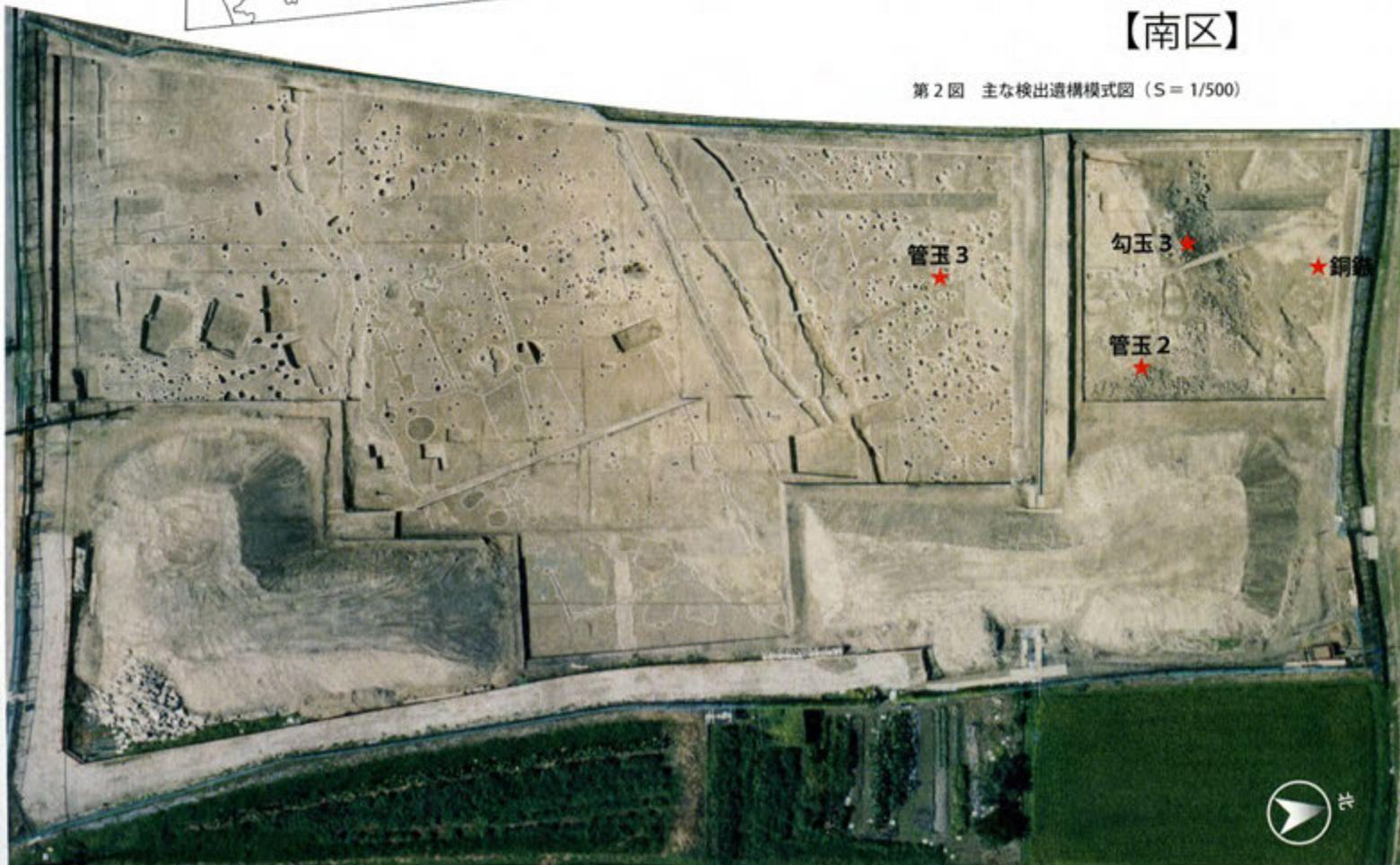


写真5 池之内・條地区全景



写真1 南区 流路2 遺物出土状況 (北東より)



写真2 南区 竪穴住居1・2全景 (南より)



【北区】



写真3 南区 方形池状土坑1北側から出土した銅剣

〈凡例〉

- 古墳時代前期の遺構
- 古墳時代中期の遺構

★ 遺物出土地点



写真4 北区 竪穴住居7の床面から出土した土器



写真6 南区 方形区画施設1の柱穴断面 (西より)



写真7 北区 竪穴住居跡11・12全景 (南東より)

1. はじめに

秋津遺跡は、京奈和自動車道御所道路第7工区（池之内・條地区）の建設に先立つ試掘調査（2009.5～6）によって、新たに発見された古墳時代前・中期（約1700～1500年前）の遺跡です。奈良盆地南西部の御所市池之内・條に位置しています。

遺跡の南側には、古墳時代中期の200mを超える前方後円墳の宮山古墳や大型円墳のみやす塚古墳、古墳時代前・中期の中西遺跡、さらに中・後期の古墳が群集する巨勢山古墳群が存在します。

2. 調査の成果

調査は、対象範囲を南北に分けて実施しました。

南区からはこの遺跡を特徴づける方形の施設が3カ所発見されました。それは二本の柱穴に挟まれた溝（たて板を並べた溝）が、方形に巡る構造になっています。その中でも北側の一辺が逆L字になる構造の方形区画施設3は、長辺が40mを越える大きな区画で、内部に目隠し塀（柵2）を伴う掘立柱建物2が存在する点でも中心的な施設と考えられます。この逆L字の構造は、かこいがたはにわ 冪形埴輪の入口部に似ています。また、施設全体を検出できた方形区画施設1は、平面形が長方形（東西方向30m、南北方向14m）をしています。この施設内には掘立柱建物1が見つっています。

方形区画施設1の北側には、施設に並行して掘られた溝1、南区の北端からは土地を区画する流路2も見つっています。

今回発見した新たな方形区画施設、掘立柱建物、溝はすべてこの付近の地形に合わせた方向で計画的な配置になっています。二本柱を巡らす施設は、現在まで実際の例がありません。しかし、古墳時代の埴輪の中に家形埴輪を囲む冪形埴輪（塀を表現した埴輪）があり、今回発見した施設とよく似ています。こうした埴輪の類例から見ると、二本の柱と横木で板などの壁材を挟み込むように固定していた可能性が考えられます。しかし実際の柱や板は抜き取られたために残っていません。

方形区画施設1の北側の溝1・2と流路2からは、多くの遺物が出土しています。かんしき 韓式系（朝鮮半島から出土

しているものに似ている）・東海・北陸・山陰・東部瀬戸内地域などの土器が多量に捨てられています。これは各地との交流の広さを示しています。また、フイゴの羽口（風を送る管）や鉄さい（鉄のかす）などの鍛冶にかかわるものが発見されています。さらに前期の古墳に納められる銅鑊（銅のやじり）など普通の集落では見られないものがあります。

北区の流路3・4と溝3で区画された集落では、古墳時代前・中期の竪穴住居が、3回以上建て替えられました。この集落の南には谷が存在し、その南側には南区に関係する土坑・ピット（人工的な小さな穴）とともに方形の池と導水施設が見つっています。

この地区からは、古墳時代前・中期の土器（土師器・須恵器・製塩土器）をはじめとして、流路内から車輪石の破片、勾玉、管玉などの装身具が出土しています。

3. まとめ

今回の秋津遺跡の調査では、南区において今までに知られていなかった構造の方形区画施設を発見しました。この方形区画施設は、古墳に用いられた冪形埴輪の「冪い」が実際に存在していたことを明らかにしました。

この方形区画施設は、規模が大きいにもかかわらず短い期間での使用であったと考えられます。そしてこの施設の構造や板材の使用を考えると、非常に強力な集団がこの施設を作ったと思われます。おそらくこの施設は、その集団にとって重要な儀式を行った場所だと考えられます。

秋津遺跡は古墳時代前期（4世紀前半）に活動の中心があります。この時期は、秋津遺跡の南西方向にある宮山古墳より古くなります。この地域は葛城氏の始まりの地と考えられていますが、秋津遺跡の発見により葛城氏のこの地域での活動が宮山古墳よりさかのぼることを明らかにしました。

2010年1月23・24日



イワミン

京奈和自動車道御所道路池之内・條地区

秋津遺跡

—古墳時代前期の方形区画施設の調査—

奈良県立橿原考古学研究所

〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町1番地 TEL:0744-24-1101 (代表)

★ホームページでも現地説明会の案内・説明内容をご覧いただけます <http://www.kashikoken.jp>



千城遺跡1300年祭
公式マスコットキャラクター
せんとくん